

久米島文書資料目録

凡例

- 一 文書目録は所有者別に示した。各文書について、名称・編著者・装丁・冊数・丁数・法量・著者版元・時代年代・刊写で示し、備考には内容や特記事項を記した。
- 一 山里家文書と与世永家文書については、沖縄県教育委員会『八重山諸島を中心とした古文書調査報告書』（昭和五五年度）から再録した。
- 一 文書名称は原則として表題を採用することにしたが、表紙が欠落したり、表題がないものについては、内容を勘酌して、適宜補足した上で、（ ）付けにした。
- 一 劣化が著しく、取扱いや測定不能の資料については「法量」や「丁数」など空欄としたものがある。
- 一 丁数は前表紙・後表紙ともに含めた数を示した。
- 一 法量の単位はセンチメートルである。
- 一 判読不能の文字は□で示した。
- 一 表題及び備考の引用文中の古体・略体文字はなるべく正字に、変体仮名は現行仮名に改めた。
- 一 久米島の前近代史料を中心として、過去の調査で未確認の史料をなるべく掲載するように努めたが、重要と思われるものについては近代の文書も掲載した。
- 一 上江洲家文書については、虫損や劣化、断簡のためまだまだ整理の半分にも至っていない。したがって、ここに掲載された目録は中間報告であることを、お断りしておきたい。全体の目録については、整理が済み次第、本編とは別にまとめる予定である。

一 カード化された内容については、「桐」のデータベースに入力し、保管されている。一 文書のカード化は県立博物館においておこなひ、久米島総合調査の委嘱調査員とともに、以下の各氏の協力を得ておこなった。

- 池 宮 正 治(琉球大学教授、久米島総合調査委嘱調査員)
豊見山 和 行(琉球大学助教授、久米島総合調査委嘱調査員)
玉 木 順 彦(北谷町公文書館)
榮野川 敦(琉球大学附属図書館)
真栄平 房 昭(神戸女学院大学助教授)
島 尻 克 美(那覇市文化局歴史資料室)
嘉手苺 千鶴子(沖縄国際大学教授)
粟 国 恭 子(浦添市立図書館沖縄学研究室)
糸 数 兼 治(沖縄県立博物館館長)
大 城 将 保(沖縄県立博物館学芸課長)
萩 尾 俊 章(沖縄県立博物館学芸員)
- 一 資料目録の編集は萩尾俊章が担当した。情報カードの整理・入力作業にあたっては、新城さやか・宮平真由美(県立博物館臨時職員)の補助を得た。